

木協通信

★日田木材協同組合百年を語る
日田郡木竹商共算組合規約書

第六章 計算

第四十条 事業年度は其の年四月一日より翌年三月三十一日迄の一周年とす

第四十一条 支配人は毎月の計算書を作り翌月五日迄に会議所へ差出し、事業年度終に於て一周年分の通計清算書を頭取に提出すべし

第四十二条 当組合経費予算は毎年事業年度前総代会に於て議決す

第四十三条 手数料収入利子其他諸益金を以て利益とし、経費 報酬給料旅費日当諸費）支払利子其他諸損金を損失とし、利益金より損失を引去り残金を以て純益金とす

第四十四条 役員賞与金は総代会於て金高及割合を定め毎年度計算期の総会にて議定するものとす

第四十五条 損益共分の割合は純益金より役員賞与金を控除し其の一〇分の一を資本金出資の高に應じ分配し、一〇分の九を手数料及組合費納め高に應じ割戻すものとす

第四十六条 利益金より諸損金の超過する節は第四十五条の割合を以て出金するものとす

但し諸損金超過する時は役員賞与を受けざるものとす

次号へ続く

☆平成30年度業主旅行

総務・企画委員長 諫本初美

平成30年11月16日から2泊3日で沖縄県に視察研修に行つて来ましたので、概要をご報告します。

沖縄プレカットセンターは2016年11月に糸満市に建設された。敷地面積は1,300坪である。生産量は月産1,000



沖縄プレカットセンター

沖縄空手会館

第61号
発行年月日
平成30年12月7日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167

坪であり、1日1棟分を加工している。今後生産能力を1.5倍にする予定である。スギは宮崎県から主体に入れている。ヒノキは都城産である。鹿児島港渡しで、スギなら5万1千円/m程度である。見積もりをしてくれば日田からでも取引は可能である。沖縄県は、戦後の米軍の影響や台風・シロアリの被害等から鉄筋コンクリート作りが主体であった。2009年までの木造建築の着工割合は1%であったが、近年、鉄筋やコンクリートの価格が高騰し、また、木造の耐震性やシロアリ対策が進んで、木造に人気が出てきている。2017年の木造着工数は1,161棟で全体の7%と増えている。建設中の現場も見学させて頂いた。市も移住者を受け入れるため、用地を半額坪20万円）程度で提供しているとのことであった。建築費もRCの2/3程度で割安なため、今後木造建築が増えると見込んでいるようである。



旧海軍司令部壕

大分の塔の一角

次に沖縄空手会館を見学した。この建物は昨年建設された、沖縄県を代表する木造建築物である。総事業費は土地代も含めて、65億円である。約1,800m²の宮崎県産のスギやマツをふんだんに使用していた。当日は外国の空手家が沖縄の空手の練習をしていた。これからも、沖縄県で木造建築が建設されることを期待したい。



美ら海水族館

海洋博記念公園

その後、戦禍に散った人々を、供養するために建てられている、白梅の塔や大分の塔に参拝し、先人に感謝するとともに、平和が続くことをお祈りした。心配された天候にも恵まれ、3日間の旅を終えました。

★ドラッグストアモリ オープン

サンリブの駅前跡地に建設中の株ドラッグストアモリは、11月15日に公証役場にてドラッグストアモリとの本契約 20年間の定期借地契約）を締結致しました。ドラッグストアモリは11月24日(土)にオープン致しました。



☆新栄合板との意見交換会

去る11月27日に、新栄合板と原木需用者との意見交換会が開催されました。工場の建設業況と稼働計画の説明がありましたので、ご報告します。

工場用地10haの造成工事が終了し、現在45m²×275mの大きさの建屋とボイラー棟を建設中である。2月から機械を設置し、3月から4月中旬にかけて試運転をおこなう予定。その後、24時間体制の本格稼働となる。年間の原木消費量は最大で、10万8千m³である。土場が12月中旬に完成するので、その後原木の仕入れを始める。原木価格は熊本県八代では、工場持ち込みでスギが10,700円、ヒノキが16,000円であるが、大分工場の仕入れ価格は今後検討する。

原木は20cmから50cmの大きさで、最大矢高は5cmまで受け入れる。仕入れ先は県内を見込んでいたが、手当が出来ないときは、熊本、宮崎県等県外も視野に入れていた。山からの直接仕入れを6割程度見込んでいた。

工場の生産は月間10mmの合板を30万枚生産し、年商は百億円を見込んでいた。

☆お知らせ

○平成30年度木づかい促進事業

平成30年度の受付は11月15日をもって、新築・リフォーム共に終了しました。尚、災害申請は受付を継続しています。事務局..日田木材協同組合

Tel 24・2167 小関・川原・新原

★功労者表彰

大分県功労者表彰に、日田木材協同組合第十六代理事長 (有)安心院製材所代表取締役会長 安心院剛様が林業製材業部門で受賞致しました。

日田市功労者表彰には、木材産業振興として、日田木材協同組合理事 後藤作彦様と、教育振興として、日田木材協同組合員 石井公平様が受賞いたしました。

また、大分西部流域林業活性化センター主催による日田地域林業振興部会表彰に林業・木材産業功労者として、日田木材協同組合第十八代理事長 佐藤浩幸様が受賞致しました。誠にありがとうございます。

★木協ゴルフ会

11月4日(日)、天ヶ瀬カントリーにおいて第101回木協ゴルフ会を開催いたしました。天候に恵まれ、来賓と組合員合わせて32名の参加を頂きました。

優勝は江嶋製材所 江嶋仁様が、準優勝に(有)安心院製材所 長谷秀広様が栄光に輝きました。今後も沢山のご参加をお願い致します。



★四市工業連合会交流会

工業連合会の交流会は、平成13年度に日田市と中津市の交流として始まり、平成17年度からは宇佐市、平成20年度には豊後高田市が加わり、四市の工業連合会の交流会が毎年持ち回りで開催されており、今年は日田市での開催となりました。名水美人ファクトリー(株)日田工場と老松酒造(株)に企業視察し、その後、地元高校との意見交換会、懇親会が開催されました。参加者は総勢77名でした。



【老松酒造(株)にて】

【懇親会にて】

地元高校との意見交換会では、日田林工と三隈高校の校長先生から高校の就職状況等の報告がなされました。日田林工の平成29年度の就職等は進学が18.9%の27名、自営が2.8%の4名、公務員4.2%の6名、企業就職が74.1%の106名でその内、管内と大分県以外の九州が最も多く、ともに22.6%の24名である。

三隈高校では、進学が15.7%の23名、専門学校 看護医療系等が50.7%の74名、就職が33.6%の49名である。キャリア教育として、30歳になったらみんなにレポートを提出してもらい現状の報告をいただき、先生がアドバイス等の返事を書いている取り組みをしている等の報告がありました。

★商工祭

11月22日、商工祭にて商工従業員表彰が行われました。

第2部のアトラクションでは、藤蔭高校の吹奏楽部の演奏。1等3万円分のお買物券が当たる「ぐじ抽選会」など、会場は盛り上がりました。

組合員従業員では下記の方々表彰されています。おめでとうございます。

(有)安心院製材所	三国寛士	30年
日田木材協同組合	矢羽田康成	30年
亀川集成(株)	新川浩人	20年
(株)佐藤製材所	重見 一広	20年
亀川集成(株)	川津真人	15年
日田木材協同組合	宮崎桂一	15年
(株)深津製材所	熊谷清次	15年
(有)カネサダ横尾木工所	高倉慎也	15年
(株)井上製材所	岩下義信	10年
(株)佐藤製材所	江藤謙太	10年
(株)佐藤製材所	高倉義広	10年
(株)深津製材所	其畑 一人	10年
(有)高村木材	本道修也	5年
(有)安心院製材所	橘 美穂	5年
(株)佐藤製材所	岩見友彦	5年
(株)佐藤製材所	帆足友晴	5年
(有)カネサダ横尾木工所	堀 博幸	5年
(有)カネサダ横尾木工所	坂内眞子	5年



★アメリカ旅行記 (終)

小関明生



【中央管理棟にて】

【ガードレールの杭】

グラントキャニオンでは、中央管理棟も木材が豊富に使われていました。下流に行くほど日本全体のダムの2倍の貯水量があるという大きなダムがありました。その通路には、20㎞角材を使ってガードレールが作られていました。

木材専門店に行きましたが、残念ながらお休みでお話を聞くことが出来ませんでした。

道路沿いに何軒かの木材住宅が建てられている所も見ることができました。

何と言ってもアメリカは広く、ほんの一部しか見られませんでした。多くのところで木材が使われていました。今後の輸出先として有望と思われました。

8日間の駆け足の旅でしたが、機会があれば、また、訪れようと思っています。



【アスベガスにて】

【エンジェルスタジアム】

★お知らせ

○「地域経済復興プレミアム商品券」木協資材販売に於いて、地域経済復興プレミアム商品券」参加店となりました。どうぞご利用ください。

○第10回 木と暮らしのフェア

